

ねりま 区報

Nerima

➔ 12/1

令和6年
(2024年)

今号の注目情報

- 会計年度任用職員(サポートスタッフ)を募集 4面
- 農の学校で学ぼう! 11面
- ねりま推し冬のキャンペーン 12面

第2063号 毎月1日・11日・21日発行

発行/練馬区 編集/広聴広報課
〒176-8501 豊玉北6-12-1
☎3993-1111(代表) FAX 3993-1194
https://www.city.nerima.tokyo.jp/



区は、誰もが暮らしやすいまちを目指し、障害への理解を進めるさまざまな取り組みを行っています。

12月3日～9日の障害者週間にちなんで、今回、盲導犬(アイメイト)のことや障害理解について望むことなどをインタビューしました。

▶ 問合せ: 障害者施策推進課事業計画係 ☎5984-4602 FAX 5984-1215

盲導犬(アイメイト)使用者
磯村千夏さん

12/3～9は障害者週間

助け合える社会へ

詳しくは2・3面へ

5階の窓から



今年一年間、アメリカへの強い関心を抱き続けてきました。大統領選挙の進行と大谷翔平選手の活躍があつたからです。選挙はトランプ氏の圧勝で終わりましたが、アメリカのこれからに大きな不安を抱いたのは私だけでしょうか。

二十世紀の世界を築いたのはアメリカでした。日露戦争の講和幹旋から始まり、第一次世界大戦、第二次世界大戦、東西冷戦と、戦争の帰趨を決めたのは、アメリカの国力でした。しかも、その結果は、人類の歴史にとって決してマイナスではなかったのです。歴史の紆余曲折はありましたが、アメリカが終始一貫して「自由と民主主義」の理想を手放すことがなかったからです。万が一ナチスやソビエトが勝利した世界が実現していたとしたら……。想像するだけで慄然とします。

奴隷解放のリンカーン、ニューデールのルーズベルト、公民権のケネディ。彼等が目指した、自由と人権、草の根民主主義のアメリカは消えるのか。移民がペットを食べると平然と言いつつ新大統領を目にして、不安は消えません。私は一自治体の長に過ぎませんが、日本人である誇りを胸に抱きながら、アメリカ民主主義の永き良き伝統にも繋がる者でありたい。心から願っています。

御多分に漏れず、大谷翔平選手には熱中しました。私達の世代にとっては、日本選手がMLBでホームラン王になり、ましてMVPになるなど、想像すら出来ない大偉業でした。それを易々と成し遂げた大谷選手の偉大さは勿論ですが、彼を偏見無く受け入れ、公平に処遇し報いたアメリカ社会もまた偉大だと思います。子どもの時にアメリカから教わった、スポーツマンシップを目の当たりにする思いでした。願わくば新大統領も、このアメリカ魂を体現して行動されますように。

練馬区長 前川 耀男